

2000.09.16
2017.3.14制定
改訂

安全データシート

1 [化学物質及び会社情報]

製品名 ハッコー599,599B, ハッコーFH-800
品番 No.599-029, A1561

会社名 : 白光株式会社
住所 : 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号
担当部門 : R&Dセンター

緊急連絡先・問い合わせ先

品質保証環境室

TEL : 06-6561-1574

FAX : 06-6568-0821

2 [危険有害性の要約]

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性個体 : 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分外

急性毒性（経皮） : 区分5

急性毒性（吸入 ガス） : 分類対象外

急性毒性（吸入 蒸気） : 分類できない

急性毒性（吸入 粉じん） : 区分4

急性毒性（吸入 ミスト） : 分類できない

皮膚腐食性/刺激性 : 区分3

眼に対する重篤な損傷/刺激性 : 区分2B

呼吸器感作性 : 区分1

皮膚感作性 : 区分1

生殖細胞変異原性 : 区分外

発がん性 : 分類できない



生殖毒性	:	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	:	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	:	分類できない
吸引性呼吸器有害性	:	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性)	:	区分外
水生環境有害性 (慢性)	:	区分外

ラベル要素

絵表示



注意喚起語	:	危険
危険有害性情報	:	皮膚に接触すると有害のおそれ 吸入すると有害 軽度の皮膚刺激 眼刺激 吸入するとアレルギー喘息または呼吸困難を起こすおそれ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 水生生物に毒性 長期的影響により水生生物

注意書き

- 【予防策】**
- ・ 粉塵、ヒューム、蒸気の吸入を避けること
 - ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 - ・ 取扱い後は よく手を洗うこと
 - ・ 汚染されあ作業衣は作業場から出さないこと
 - ・ 適切な保護具を着用すること
 - ・ 環境への放出を避けること
 - ・
- 【応急処置】**
- ・ 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
 - ・ 吸入した場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること
 - ・ 眼に入った場合、水で15分以上注意深く洗うこと
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は、外すこと
その後も洗浄を続けること
 - ・ 眼に入った場合、眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること

- ・ 吸入した場合、呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・ 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること
- ・ 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと
- ・ 皮膚に付着した場合、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること

【保管】 ・ 換気の良い場所に保管すること

【廃棄】 ・ 許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること

3 [組成及び成分情報] 特性 単一製品・混合物の区別： 混合物

化学名	:	フラックス		黄銅
		ロジン	脂肪酸	—
成分及び含有量	:	< 1 %		> 99%
		20-30%	70-80%	—
化学式及び構造式	:	—	—	BSBM
官報公示整理番号(化審法)	:	7-935	2-608	—
官報公示整理番号(安衛法)	:	11-(4)-95	既存	—
C A S No.	:	8050-09-7	67701-06-8	—
国連分類	:	非該当	非該当	—
国連番号	:	非該当	非該当	—

4 [応急措置]

- 目に入った場合 : 清浄な水で最低 15 分間洗浄し、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で十分洗浄する。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

5 [火災時の措置]

- 消火剤 : 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂

- 特定の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する
安全に対処できるならば着火源を除去する
- 使ってはならない消火剤 : 棒状放水
- 消火を行う者の保護 : 適切な空気呼吸器、耐熱防護服を着用する

6 [漏出時の措置]

- 人体に対する注意事項 : 全ての着火源を取り除く
- 環境に対する注意事項 : 環境中に放出してはならない
- 除去方法 : 空容器に回収し、後で廃棄処理する

7 [取扱い及び保管上の注意]

取扱い

- 技術的対策 : 粉塵を吸入しないように、作業所は十分局所排気するとともにマスクを着用する
- 注意事項 : 静電気対策についても留意すると共に、適切な保護具を着用し作業する

保管

- 保管条件 : 容器は、高温下での保管を避け、屋内一般倉庫に貯蔵する。

8 [暴露防止及び保護措置]

- 設備対策 : 密閉された装置、機器の使用または局所排気装置を設ける

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度 : 日本産業衛生学会 設定されていない
(1999年版)

ACGIH(1999年度版) 設定されていない

保護具

- 呼吸用保護具 : 防塵マスク
- 保護眼鏡 : ゴーグル型
- 保護手袋 : ゴム手袋
- 保護衣 : 静電気防止用作業服

9 [物理的及び化学的性質]

- 物理的状态 : ロジンでコーティングされた黄銅線
色

臭い	特異臭
pH	データなし
軟化点	50°C以上
沸騰範囲	データなし
引火点	170°C
発火点範囲	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重	データなし
水溶解性	水に不溶
オクタノール / 水分配係数	データなし
分解温度	データなし

1 0 [安定性及び反応性]

安定性	: 法規制に従った保管および取扱いにおいては安定と考えられる
反応性	: 加熱すると分解し、刺激性ヒュームが生じる
避けるべき条件	: 加熱
混触危険物質	: 酸化剤・アルカリ
危険有害な分解生成物	: 刺激性ヒューム
自己反応	: 消防法の自己反応性物質に該当しない
粉塵爆発性	: 情報なし
安定性・反応性	: 通常の状態では安定
その他	: 強アルカリとの接触を避ける

1 1 [有害性情報]

呼吸器感作性	: ロジンが日本産業衛生学会で気道感作性物質の第1群に分類されていることより、区分1とした
皮膚感作性	: ロジンがEU分類でR43であること(EU-Annex I)に基づき、区分1とした
急性毒性(経口)	: ラットLD50 値 ロジン:7600mg/kg,脂肪酸:5000mg/kg より区分外とした
急性毒性(経口)	: ラットLD50 (6h) 値 ロジン:1.5mg/Lに基づき、区分4とした
急性毒性 (吸入 粉塵)	: ラットLD50 値 ロジン:2500mg/kg,脂肪酸:>5000mg/kg より区分5とした
皮膚腐食性・刺激性	: ロジンのラットを用いた試験で軽度の刺激性との記載より区分3とした
眼に対する重篤な 損傷・刺激性	: ロジンのラットを用いた試験で軽度の刺激性との記載より区分2Bとした

発がん性	: 脂肪酸においてリスト(IARC,NTP)に記載されていないが、ロジンでのデータがないため、分類できないとした
生殖細胞変異原生	: マウスに経口投与後の骨髄を用いた小核試験で陰性(ロジン)より、区分外とした
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	: データなし
吸入性呼吸器有害性	: データなし

1 2 [環境影響情報]

水生環境急性有害性	: ロジンの含有量が1%のため区分外とした
水生環境慢性有害性	: ロジンの含有量が1%のため区分外とした
その他	: 情報なし

1 3 [廃棄上の注意]

法、条例に従い処理廃棄するか、又は許可を受けた指定業者に委託し廃棄する

1 4 [輸送上の注意]

直射日光を避け、荷崩れの防止を確実にを行う

1 5 [適用法令]

消防法	: 指定可燃物 (可燃個体類)
-----	-----------------

1 6 [その他の情報]

引用文献 製造メーカー発行の MSDS

本データは現時点で入手できる情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

記載内容は通常の使用状態におけるものであり、危険有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、使用におかれましては、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。